

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・ 新型車の投入により、来客数が大幅に上向いている。 ・ 電話の問い合わせが増加しているが、新しい車種がないので他のディーラーは苦勞している。
	やや良く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・ 子供服では高くても良い物を買おうとする姿勢がみられる。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・ 買上金額は2.5ポイント減少しているものの、来客数が2.7ポイント増加している。
		スーパー(総務 担当)	販売量の動き	・ 単価が低下しているため売上増には結び付いていないものの、来客数、販売量ともに増加している。
		スーパー(経理 担当)	お客様の様子	・ 客の節約疲れがみえ、売行きが悪さも底をついて反転している。
		衣料品専門店 (地域ブロッ ク長)	販売量の動き	・ 春物衣料が引き続き好調な売行きである。 ・ プライベートブランドが好調なため、全体での売上も増加している。
		家電量販店(店 長)	それ以外	・ 去年の家電リサイクル法施行の反動により、リサイクル4品目の売上が低迷していたが、今月は良くなっている。 ・ パソコンも安定してきており、他のオーディオ関係も上調子になっている。
		家電量販店(店 員)	単価の動き	・ 来客数、買上点数も増加しており、買上単価も上昇してきている。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・ 婚礼件数、一般宴会件数とも、昨年より大きく上回っている。
		旅行代理店(団 体営業担当)	単価の動き	・ 従来の1泊2日よりも、2泊3日、3泊4日のロングの商品が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ タクシーチケットの売上が少しずつ伸びてきている。
	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・ 平日における来園者数が例年に比べ多くなってきている。	
	変わらない	商店街(代表 者)	お客様の様子	・ 欠品した商品があっても、欲しい時に商品がそこになければ、次に入荷したときにも買わない。
		一般小売店[印 章](営業担 当)	単価の動き	・ 一般の客は相変わらず価格に敏感で、安い商品を買う傾向にある。
		百貨店(営業企 画担当)	来客数の動き	・ 客単価は回復基調だが、来客数は相変わらず低迷している。 ・ 商品の売れ筋は2極化傾向にあり、ブランド、高品質、付加価値という高い物と、極端な低価格とに分かれる傾向が出ている。
		百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・ 全体的には不調であるが、消耗品である化粧品、靴下など季節品が動き始めている。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・ 客単価が一向に伸びないことに加え、客1人当たりの買上件数が全く伸びていない。特に特売商品を中心に買物をする客が目立っている。
		スーパー(店 員)	販売量の動き	・ 広告商品、売出商品、目玉商品を買う客が目立つ。 ・ 売出し初日の商品の動きは大変良いが、2日目、3日目となると商品によって格段の差が出てくる。
		スーパー(店 員)	販売量の動き	・ 依然として青果等の相場は低下したままであり、特売品や目玉商品の価格も他店と同様に安くなるばかりである。
コンビニ(エリ ア担当)		お客様の様子	・ 今まで扱っていた安価な弁当の販売をやめた途端、全体の販売個数が減少している。 ・ その一方で単価が上昇した分、売上自体は変化がなく、減少した個数分は安価な物にシフトしている。	
コンビニ(エリ ア担当)		単価の動き	・ これまで安売り特売をしない風潮にあったコンビニでも、期間限定で特売をするようになってきている。 ・ 客も特売の商品を目的として買いに来る傾向が強くなっており、客単価が低下している状態が続いている。	
コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・ 週末や休日に行楽で立ち寄るの来客数が、例年と比べて回復していない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		衣料品専門店 (店長)	単価の動き	・例年と比べてカジュアル関係もスーツも夏物がやや早く動いている状況にあるが、1着単価は従来と変わらず低い状況である。	
		家電量販店(副 店長)	お客様の様子	・時間はかかるが、高額商品は確実に買われている。 ・平均的な価格の商品や安い商品は次回にしようという感覚で、買わないケースが多い。	
		乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・新車の販売台数は新型車の投入で例年を上回っているものの、低価格車の台数が多い。 ・上級車種の販売が低迷している。	
		乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・3月、4月と新車発売があり売上は伸びているが、小型車需要だけなので、全体としてはあまり変化がない。	
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・タイヤ等の実需品の販売はある程度好調だが、し好色の強いカーオーディオ等の販売が低迷している。	
		住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・休日の来客数の減少が止まらず、購入意欲のない来店客が非常に目立つ。	
		その他専門店 [カメラ](地 域ブロック長)	来客数の動き	・担当店舗で売上のバラツキはあるが、客単価に伸びはなく、90数%で均衡している。	
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・ランチタイムのビジネス客、OLの来客数が少ない。 ・夜はファミリー客などである程度来客数があるが、客単価が多少低下している。	
		通信会社(経営 者)	お客様の様子	・加入契約が前月実績と同程度であり、従来平均を大幅に下回っている。	
		通信会社(企画 担当)	競争相手の様子	・3か月単位で考えても動向の変化がはっきりとはみえにくい。 ・同業者も上向いてきている様子にはない。	
		通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・販売代理店への客の来店状況が低調である。	
		レジャー施設 (営業企画担 当)	単価の動き	・来客数は営業推進企画の効果もあるが、前年の106%で推移している。 ・館内の飲食部門は宿泊部門から流れる来客数の増加と、純粋な一般利用の増加とがある。 ・値下げにより客単価は下落幅が大きく、来客数の増加にもかかわらず、売上減という状況が続いている。 ・客の財布のひもが固くなっている印象を受けることはあまりない。	
		住宅販売会社 (経理担当)	販売量の動き	・新規発売物件に関して低価格物件は販売開始1か月後でも比較的好調であるが、それ以外は来客数、契約数とも伸び悩む傾向にある。	
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・契約受注状況が3か月前と同様に低迷を続けており、受注金額も回復基調がみられない。	
		やや悪く なっている	百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・客は必要な物以外は買わず、動きが悪くなっている。
			百貨店(売場担 当)	販売量の動き	・サンダルの動きが非常に悪く、売上が少ない。
百貨店(売場担 当)	お客様の様子		・昨年に比べてサンダルの動きが非常に鈍く、単価がかなり落ちており、12,000円、13,000円の商品から9,800円の商品にメインが移っている。 ・客の嗜好がウォーキングシューズ、カジュアルシューズといった履きやすい靴にシフトしており、パンプスやエレガントラインの商品が全く動いていない。		
衣料品専門店 (店長)	来客数の動き		・4月に入り、軒並み来客数が伸び悩んでいる。		
乗用車販売店 (所長)	販売量の動き		・2か月間で新型車が2台出ているが、それらがある程度売れている一方、既販車の動きは例年と比べても非常に悪い。 ・トータルの受注量は例年を少し下回っている状態で、依然として悪い状況が続いている。		
住関連専門店 (広告企画担 当)	単価の動き		・来客数は増加しているが、売上が追いつかない。 ・単価が低下している。		
その他専門店 [時計](経営 者)	来客数の動き		・土曜、日曜の駐車場利用率は高いが、各店での買物率が非常に低下している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・来客数が5%前後、減少している。	
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・予約が少なくなっている。	
		タクシー運転手	それ以外	・深夜の利用客の減少が続いており、単価も低下している。 ・深夜バスやJRへの乗り換えが多く、深夜1時を回ると客がいなくなる。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・新入社員の歓迎会の人出もなく、風俗店などでは若者の人出はみられるが、年配の人は会社での仕事の大変さがみられ、飲みに出ようという元気が起こらないという声が多く聞かれる。	
	悪くなっている	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・春物と夏物が充実し、例年ならまとめ買いの客が目立ってくるが、今年はそのような客が少なく、来客数が落ち込んでいる。例年ゴールデンウィーク用に旅行着を購入する客が、今年あまり見受けられない。	
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客の会話に買物点数や金額を抑えようとする声がよく聞かれる。	
		都市型ホテル（営業企画担当）	来客数の動き	・バイクのように、比較的料金がリーズナブルな商品については、ある程度利用がある。 ・週末、祝日前の利用は多いが、平日の利用は少なく、特に4月に入ってその傾向が強い。	
		美容室（従業員）	来客数の動き	・4月に入って来客数が例年よりも急激に減少し始め、売上も例年を大幅に下回ってきている。	
	企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
			鉄鋼業（広報担当）	受注価格や販売価格の動き	・薄板など一部鋼材で値上げ機運が出てきている。
		電気機械器具製造業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・主力である液晶が値段、量とも回復の傾向にある。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が回復し、工場によってはフル操業になっている。	
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・新製品の生産が予定よりも大幅に増加したため、休眠設備の臨時使用が決定されている。	
変わらない		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・セメント、建材、樹脂、有機化学品の需要が依然として低い。 ・無機化学品は一部需要の伸びがあるものの、全体としては変化していない。	
		窯業・土石製品製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業界の市況は、依然として回復の兆しがみえず、耐火物需要も大幅に落ち込んでいる。 ・その一方でIT関連業界は在庫調整が進み、生産が上向きつつあるが、受注量や販売量などの増加にまでは至っていない。	
		一般機械器具製造（企画経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量が低水準のまま推移している。	
		その他製造業【スポーツ用品】（総務担当）	受注量や販売量の動き	・本社からの受注量が低調で推移しており、回復基調にはほど遠い。 ・一段と在庫調整を強化しており、そのしわ寄せが工場にきている。以前は生産量の急激な増減には対処できないことを理解し、ある程度の前倒し発注があったが、現在では完全に絞り込んできている。	
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・依頼があっても見積りまでで止まっている。	
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信サービスの値下げ競争は一段落した感があるが、低価格のメニューに関心を示す客の傾向が続いている。 ・高価格高品質の専用線サービスから、共用網を利用する低価格のVPN（バーチャル・プライベート・ネットワーク）サービスへの移行案件が増加している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・ボトムが続いており、小さいながらも倒産が止まらない。 ・水産関係の一部上場企業の倒産のあおりを受けて、売掛金1億円が回収不能になった企業が出ている。 ・法人預金の動きが鈍く、年率10%程度の残高減少が目につく。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・取引先の多くで受注の落ち込みに歯止めがかかっており、資金繰りもやや安定に向かっている。 ・収益面では単価引下げ圧力が強く、依然として厳しい状況にある。
		広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・例年4月は年度始めのため、広告の年間契約など固定売上が見込まれるが、今年は新規契約がほとんどなく、従来の契約も打ち切られている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・市場が低価格路線となり、安値競争が激化している。スーパー関連品の動きが悪く、リードタイムが更に短くなり、製造工場としても採算が悪化している。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・電子部品等の一部の製造業で臨時雇用者を増加させる動きが出てきている。
	変わらない	求人情報誌作成会社（支店長）	雇用形態の様子	・正社員の数が減少しており、契約社員、アルバイトの数が増加している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者の増加は依然続いている。 ・求人数は増加しているが、臨時パートの割合が高く、約30%である。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規の求職者数が、前年に比べ増加している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・工場閉鎖、事業廃止により大量解雇を行う事業所がある一方、業種によっては受注に回復傾向がみられるところや、売上高が対前年同月比で増加している事業所もあるが、新規求人の増加にはつながっていない。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・即戦力になる人物であれば増員して採用することを考えている企業はあるが、採用基準が高く結果として採用者の増加につながらない。
	やや悪くなっている	学校[大学]（就職担当）	求人数の動き	・例年と比較すると、約3%から4%求人数が減少している。
		学校[大学]（就職担当）	求人数の動き	・求人数は例年に比べてと変化はない。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・パートやアルバイトといった安価な労働力の確保にシフトする傾向が続いている。 ・一方人員の余剰感を抱いている企業は現状維持のままで、東京、名古屋、大阪のような人材の流動化は感じられない。
	悪くなっている	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・3か月前と今月を比較した場合、面接設定の回数が減少している。 ・企業サイドから来る求人依頼が減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が過去最低水準となるなか、製造業と建設業での求人数の落ち込みが大きくなっており、停滞感が一層強まっている。